

函館市地域包括支援センター 亀田

平成29年度活動評価

平成30年度活動計画

北東部第2圏域



— 目 次 —

1. 圏域の特徴と課題	・・・	p.1
2. 活動評価と活動計画		
① 包括的支援事業		
ア 地域包括支援センターの運営		
(ア) 総合相談支援業務	・・・	p.2～5
(イ) 権利擁護業務	・・・	p.6～9
(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務	・・・	p.10～13
(エ) 地域ケア会議推進事業	・・・	p.14～15
イ 生活支援体制整備事業		
(ア) 第2層生活支援コーディネーター業務	・・・	p.16～17
② 新しい介護予防・日常生活支援総合事業		
ア 一般介護予防事業		
(ア) 地域介護予防活動支援事業	・・・	p.18～21
(高齢者の生きがいと健康づくり推進事業)		
③ 任意事業		
ア 住宅改修支援事業	・・・	p.22～23

1. 人口の推移と年齢構成

(人) H30.3末

	H26.3	H27.3	H28.3	H29.3	H30.3	割合	全市
年少人口	4,500	4,380	4,327	4,265	4,172	11.5%	9.9%
生産年齢人口	23,103	22,563	22,290	22,068	21,727	60.1%	55.8%
高齢人口	8,921	9,347	9,658	9,944	10,247	28.3%	34.3%
(再掲)65～74歳	4,841	5,099	5,220	5,302	5,426	15.0%	17.1%
(再掲)75歳以上	4,080	4,248	4,438	4,642	4,821	13.3%	17.2%

2. 世帯構成

H30.3末

	世帯数	割合	全市
高齢者単身世帯	3,557	18.8%	24.0%
高齢者複数世帯	2,238	11.8%	12.8%
その他	13,127	69.4%	63.2%

4. 介護保険サービス事業所数

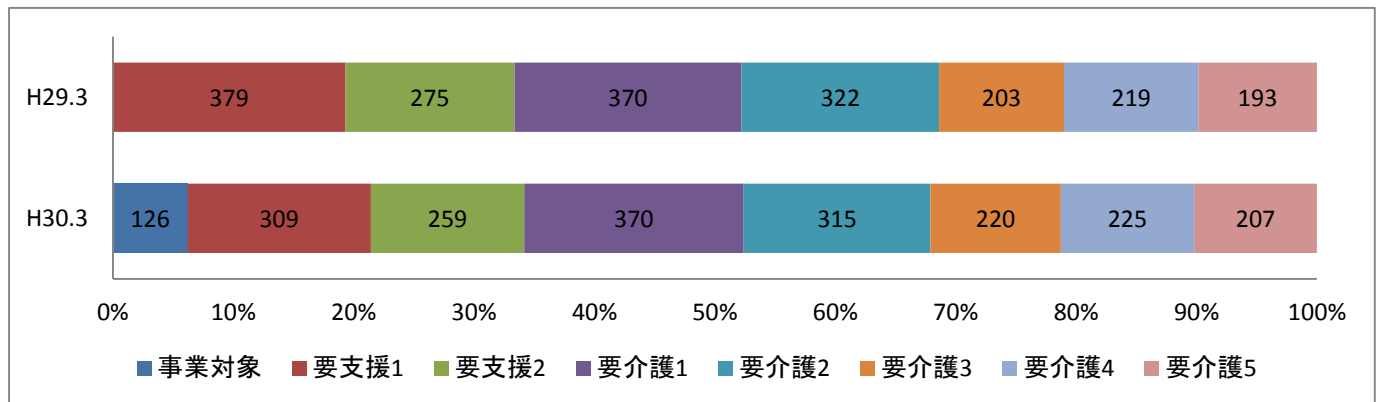
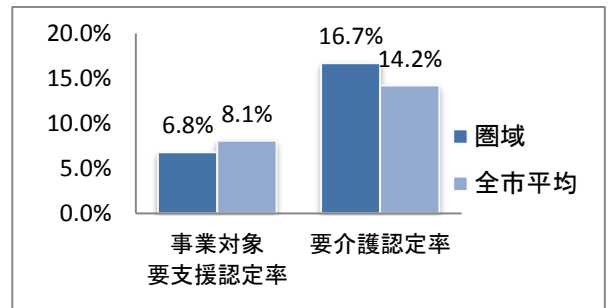
H30.3末

居宅介護支援・小規模多機能型等	13
地域密着型サービス	19

3. 要介護認定の状況

H30.3末

	H29.3	H30.3	全市
事業対象者・要支援認定者(人)	654	694	7,253
事業対象該当率・要支援認定率(%)	6.6%	6.8%	8.1%
予防給付実績(人)		454	4,607
給付率(%)		65.4%	63.5%



5. 圏域の課題

高齢化率(28.3%)、前期高齢者の割合(15.0%)ともに全市と比較すると低い値である。町別にみると美原4丁目(37.5%)、5丁目(36.5%)は全市より高い高齢化率であるのに対し、石川町は17.0%と低い水準である等、地区によって特徴が明確化している圏域である。高齢化率が低くとも若い世代の町会離れや近隣との関わりの希薄化等が課題となっている。

地域の老人クラブやサークル等の活動は盛んであり、また、介護サービス事業所や学校、商業施設(食品スーパー)等も多い。既存の社会資源として捉え、相互・多世代の交流や活動の活性化・持続化を図る必要性が高く、日常生活支援総合事業の将来的な受け皿となる可能性もある。

① 包括的支援事業

ア 地域包括支援センターの運営

(7) 総合相談支援業務

【根拠法令】介護保険法115条の4第2項第1号

【目的】地域の高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を継続していくことができるよう、地域における関係者とのネットワークを構築するとともに、高齢者等の心身の状況や生活実態、必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け、地域における適切な保健・医療・福祉サービス、機関または制度の利用につなげる等の支援を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価																																																	
	実績	評価																																																
地域包括支援ネットワーク構築	<p>①ネットワーク構築機関数 72 機関</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>機関数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生児童委員(方面)</td> <td>6機関</td> </tr> <tr> <td>町会</td> <td>5機関</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会</td> <td>3機関</td> </tr> <tr> <td>介護保険事業所</td> <td>31機関</td> </tr> <tr> <td>職能団体・連協</td> <td>4機関</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>23機関</td> </tr> </tbody> </table> <p>②ネットワーク構築回数 81 回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>懇談会(開催、参加)</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>民児協定例会</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>町会行事</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉ふれあい事業</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>地域密着運営推進会議</td> <td>53回</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	機関名	機関数	民生児童委員(方面)	6機関	町会	5機関	在宅福祉委員会	3機関	介護保険事業所	31機関	職能団体・連協	4機関	その他	23機関	種別	回数	懇談会(開催、参加)	8回	民児協定例会	0回	町会行事	11回	在宅福祉ふれあい事業	7回	地域密着運営推進会議	53回	その他	2回	<p>開所2年目を迎え、初年度にネットワークを構築した機関との連携強化や関係性の構築を図ることができた。町会行事の参加・開催支援、在宅福祉委員定例会議への出席、ふれあい昼食会での講話、民児協定例会への挨拶等がルーチン化し、圏域の担当包括として浸透してきたと思われる。</p>																				
機関名	機関数																																																	
民生児童委員(方面)	6機関																																																	
町会	5機関																																																	
在宅福祉委員会	3機関																																																	
介護保険事業所	31機関																																																	
職能団体・連協	4機関																																																	
その他	23機関																																																	
種別	回数																																																	
懇談会(開催、参加)	8回																																																	
民児協定例会	0回																																																	
町会行事	11回																																																	
在宅福祉ふれあい事業	7回																																																	
地域密着運営推進会議	53回																																																	
その他	2回																																																	
実態把握	<p>①利用者基本情報作成状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画数値</td> <td>1,057件</td> <td>1,107件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>作成数</td> <td>1,190件</td> <td>946件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>112.6%</td> <td>85.5%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>再)地域支援事業分</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>作成数</td> <td>665件</td> <td>537件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>割合</td> <td>55.9%</td> <td>56.8%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②実態把握経路</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>■ 予防給付</td> <td>525件</td> <td>409件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ 見守り</td> <td>225件</td> <td>22件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ モニタリング</td> <td>14件</td> <td>10件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>■ その他</td> <td>426件</td> <td>505件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	計画数値	1,057件	1,107件		作成数	1,190件	946件		達成率	112.6%	85.5%			H28	H29	H30	作成数	665件	537件		割合	55.9%	56.8%			H28	H29	H30	■ 予防給付	525件	409件		■ 見守り	225件	22件		■ モニタリング	14件	10件		■ その他	426件	505件		<p>実態把握は目標件数を下回り85.5%の達成率であった。『見守り』での把握数減少が主要因ではあるが、『その他』の件数は前年度より増加しており、ネットワークの構築やセンターの広報・啓発活動の効果により、新たな相談ルートや新規の個別相談から実態把握ができたと評価する。</p> <p>今後も広報・啓発活動等を併せて、アウトリーチの実践により相談受付件数の増加や実態把握に繋げる取り組みの継続が必要であると考えます。</p>
	H28	H29	H30																																															
計画数値	1,057件	1,107件																																																
作成数	1,190件	946件																																																
達成率	112.6%	85.5%																																																
	H28	H29	H30																																															
作成数	665件	537件																																																
割合	55.9%	56.8%																																																
	H28	H29	H30																																															
■ 予防給付	525件	409件																																																
■ 見守り	225件	22件																																																
■ モニタリング	14件	10件																																																
■ その他	426件	505件																																																
総合相談	<p>①総合相談対応件数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>1,789件</td> <td>894件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延件数</td> <td>2,483件</td> <td>1,250件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②相談形態内訳(延)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>面接</td> <td>152件</td> <td>77件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>電話</td> <td>651件</td> <td>435件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>訪問</td> <td>1,617件</td> <td>704件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>63件</td> <td>34件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>③対象者の年齢内訳(実)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>65歳以上</td> <td>1,744件</td> <td>858件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>65歳未満</td> <td>45件</td> <td>36件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28	H29	H30	実件数	1,789件	894件		延件数	2,483件	1,250件			H28	H29	H30	面接	152件	77件		電話	651件	435件		訪問	1,617件	704件		その他	63件	34件			H28	H29	H30	65歳以上	1,744件	858件		65歳未満	45件	36件		<p>相談者の続柄のうち、家族が33.3%を占めている。生産年齢人口が多い圏域であることから、今後も働く世代からの相談割合が高いと想定される。</p> <p>相談件数の減少は計上方法の変更によるものであり、実相談件数としては前年度と差異はない状況と考える。</p>				
	H28	H29	H30																																															
実件数	1,789件	894件																																																
延件数	2,483件	1,250件																																																
	H28	H29	H30																																															
面接	152件	77件																																																
電話	651件	435件																																																
訪問	1,617件	704件																																																
その他	63件	34件																																																
	H28	H29	H30																																															
65歳以上	1,744件	858件																																																
65歳未満	45件	36件																																																

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
円滑な相談経路を確立し、支援が必要な高齢者等を早期に発見し、支援を開始することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・民児協定例会等へ参加し、センターの周知や民生委員とのネットワーク構築を図る(18方面、20方面、22方面) ・町会サロンや町会行事等に参画し、町会役員との馴染みの関係を構築する(石川町、昭和1～4丁目、赤川町、赤川1丁目、美原1～5丁目) ・ふれあい昼食会に参加・開催協力し、在宅福祉委員との馴染みの関係を構築する(石川町、昭和1～4丁目、赤川町、赤川1丁目) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク構築回数 ・ネットワーク構築機関 ・ネットワーク構築活動の内容(充実度)
シームレスな対応・支援(総合相談の受付から支援開始や関係機関からの情報提供依頼等)を行うことができるよう実態把握件数増を目指す	<ul style="list-style-type: none"> ・総合相談の受付からアウトリーチの実践により、生活状況や世帯状況、健康状態や課題等について実態を把握し、データ化する ・データを基に地域診断を行い、様々な事業・活動を実施する内容・対象者・地域等を決定する根拠として活用する ・見守りネットワーク事業による対象者の実態を把握し、必要に応じて個別対応を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者基本情報作成数と計画数値に対する達成率(≧1,082件) ・利用者基本情報作成の内訳と地域支援事業分の計画数値に対する達成率(≧713件)
家族が相談しやすい体制を確保する 多岐に渡る相談等に対してワンストップ且つ迅速に対応することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度より土曜日を開所し、相談件数・対応件数等を集計し、各曜日の配置人員数等を検討する年度とする ・相談受付後、可能な限りアウトリーチを行い、相談内容以外の潜在している問題や課題にも着眼し、解決・解消・達成に向けて支援する ・相談受付(営業時間はセンター待機者を配置、夜間は輪番による受付担当制)の体制を敷くことで24時間、365日の相談に対応する ・地域包括ネットワークを活用し、専門機関や対応窓口、制度等につなぐとともに継続的な支援を行う ・センター内でのミーティング、勉強会、研修会、事例検討等により、情報共有や職員のスキルアップを図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応件数(実・延) ・相談形態内訳 ・相談者の続柄内訳 ・相談内容内訳

(7) 総合相談支援業務

事業内容	平成29年度 活動評価			
	実績			評価
総合相談	④相談者の続柄内訳(重複あり)			
		H28	H29	H30
	本人	1,227件	540件	
	家族親族	566件	416件	
	民生委員	52件	26件	
	町会・在宅福祉		7件	
	知人・近隣	—	12件	
	介護支援専門員		120件	
	介護保険事業所	324件	38件	
	医療機関		82件	
	行政機関		27件	
	その他	373件	27件	
	⑤相談内容内訳(重複あり)			
		H28	H29	H30
	介護保険・総合事業	1,515件	780件	
	保健福祉サービス	246件	152件	
	介護予防	—	57件	
	健康	68件	24件	
	認知症		78件	
	住まい	—	60件	
権利擁護	—	17件		
その他	742件	169件		
保健福祉サービス等の利用調整	①利用調整状況			
		H28	H29	H30
	調整件数	155件	483件	
	②モニタリング実施状況			
		H28	H29	H30
	対象者数	28件	15件	
実施数	28件	15件		
実施率	100.0%	100.0%		
住民に対する広報・啓発活動	①住民に対する広報啓発回数			
		H28	H29	H30
	広報紙の発行	3件	3件	
	リーフレット等配布	13件	8件	
	出前講座・講師派遣	13件	24件	
	認知症サポーター	3件	5件	
	②総合相談にかかる広報・啓発回数			
		H28	H29	H30
	センター業務	14件	13件	
	介護保険制度	5件	8件	
	保健福祉サービス	5件	5件	
	認知症(認サホ含)	9件	8件	
	③総合相談にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関			
	〔 亀田老人大学、更生保護女性会、市立函館病院高等看護学院、亀田病院、石川町在宅福祉委員会、北美原グリーン町会、函館市町会連合会、函老連北地協第4ブロック、赤川町在宅福祉委員会、北海道教育大学附属函館小学校、亀田北病院 〕			
相談者の内訳としては「本人」「家族」が多く、相談内容の内訳としても「介護保険」「福祉関係」が多くなっており、介護・福祉サービス利用の情報提供や調整支援の割合が最も高くなっている。 関係機関(特に居宅介護支援事業所)からのルートも多く、センターへの相談が定着していると感じる。 町会や民生委員からの相談は実件数としては多くはないが、「民生委員にセンターを紹介された」等、民生委員が相談者ではないものの、センターへの繋ぎを担っている相談も多いと分析する。				
前年度と比較して調整件数が大幅増加しているが、これは大雪による除排雪サービス分である。 除排雪サービスを除いた場合、概ね前年同様の件数であり、ある程度の周知や個別の制度説明が成されていると思われる。				
開設2年目を迎え、出前講座の開催や講師派遣の依頼についてはリピーターとなる団体もできたため、前年より広報・啓発回数は大幅に増加した。 広報紙は目標数値通りの発行ができ、内容も必要項目を網羅できたと評価する。 本年度以降も上記活動を継続すると共に、出前講座開催の新規団体等の開拓により、幅広い広報・啓発活動を行っていく必要があると考える。				

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
		<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応件数(実・延) ・相談形態内訳 ・相談者の続柄内訳 ・相談内容内訳
<p>住民が制度について理解し、対象者がサービスを適切に利用することができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・下記の広報活動を行い、制度について周知する ・利用相談を受け付けた際には生活・世帯状況等を把握するとともに、迅速且つ丁寧に説明し、利用調整を行う ・民間サービス等の情報を把握し、共有できるようセンター内で勉強会等を開催し、支援の実際に活用する 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用調整件数
<p>包括の周知度を上げ、顔の見える・気軽に相談できるセンターを目指す</p> <p>認知症についての理解者を増やし、地域での見守りや相談できる住民を増やす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・センターの役割や機能等についての普及・広報を目的として、広報紙を発行する(関係機関への訪問、団体会合等への出席、町会への依頼、個別訪問等の手段による)(圏域全体)(年3回) ・広報紙や地域の行事に参加した際に、様々なテーマでの出前講座が可能な旨を周知し、依頼を受けていく ・町会役員、民生委員、関係機関や既存サークル等に出向き、ネットワークを構築するとともに、以下に主眼を置いて出前講座を開催する <ol style="list-style-type: none"> 1、センターの役割と機能(圏域全体、調剤薬局、各種団体等)(年10回以上) 2、在宅高齢者等サービス(赤川町、赤川1丁目、亀田中野町等)(年2回以上) 3、介護保険制度、総合事業(民生委員や団体等)(年5回以上) 4、高齢者の住まいや施設(北美原町等)(年1回) 5、健康・介護予防(石川町、昭和1～4丁目等)(年3回以上) 6、介護知識や介護の実際、ダブルケア問題等(団塊世代ジュニア等)(年1回) ・認知症サポーター養成講座や認知症の理解(年3回以上) ・介護施設等で職員と住民向けに開催することで介護施設と地域が交流する機会も併せ持った開催(石川町) ・コミュニティカフェ等で子育て世代を対象とした開催(昭和) 	<ul style="list-style-type: none"> ○住民に対する広報・啓発回数 ・広報紙の発行回数 ・パンフレット等配布回数 ・出前講座・講師派遣回数 ・認知症サポーター養成講座の回数 ○総合相談にかかる広報・啓発 ・センター業務、介護保険制度、保健福祉サービス、認知症(認サボ含む) ・出前講座・講師派遣の依頼機関

(イ) 権利擁護業務

【根拠法令】介護保険法115条の45第2項第2号

【目的】高齢者等が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、専門的・継続的な視点から、高齢者等の権利擁護のため、必要な支援を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価																																																																																									
	実績			評価																																																																																						
権利擁護相談 (高齢者虐待・困難事例への対応、成年後見制度の利用促進・消費者被害の防止に関する対応)	①権利擁護相談対応状況			<p>権利擁護の対応件数は平成28年度に比べ、23.5%減少しているが、所内でケース検討し、終結を意識し、整理した為と考えられる。</p> <p>対応しているケースは課題が重複している事が多く、今後も多職種との連携が不可欠である。</p> <p>相談者は平成28年度と同様で、ケアマネが最も多いが、地域住民からの相談が約2.2倍と増加。広報紙の配布先拡大や町会の新聞でセンターの事を知り、相談したといったケースもあったため、今後も様々な媒体を利用したの周知を続けていきたい。</p> <p>相談内容は成年後見等が前年比約1.9倍となっている為、関係機関との密な連携を持っていきたい。特定援助者法律相談も平成29年度に2件利用している。今後も各種制度についての知識を習得していく必要があると考える。</p> <p>医療関係者からの相談件数は減少。権利擁護の研修会に医療関係者へ参加を呼びかけたが、参加率は低かった。参集方法及び機関の工夫が必要と思われる。</p> <p>昨年度目標としていた、DV支援関係者や女性相談窓口とはネットワーク構築までは至らなかった為、広報紙の配布等を通して顔の見える関係性を作れるよう、働きかけていく事が必要と感じている。</p>																																																																																						
	<ul style="list-style-type: none"> 対応件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>51件</td> <td>39件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ件数</td> <td>1,004件</td> <td>663件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 対応事案内訳(重複あり) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高齢者虐待</td> <td>9件</td> <td>17件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>セフレグレト</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>成年後見等</td> <td>17件</td> <td>32件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>消費者被害</td> <td>4件</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>困難事例</td> <td>179件</td> <td>286件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0件</td> <td>10件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 相談者・通報者 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ケアマネ</td> <td>25件</td> <td>47件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業所</td> <td>9件</td> <td>10件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>住民</td> <td>6件</td> <td>13件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>民生委員</td> <td>36件</td> <td>35件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>本人</td> <td>47件</td> <td>14件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>親族</td> <td>58件</td> <td>23件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政</td> <td>26件</td> <td>14件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>警察</td> <td>1件</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>医療機関</td> <td>32件</td> <td>16件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>不明匿名</td> <td>0件</td> <td>0件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>67件</td> <td>14件</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 					H28	H29	H30	実件数	51件	39件		延べ件数	1,004件	663件			H28	H29	H30	高齢者虐待	9件	17件		セフレグレト	0件	0件		成年後見等	17件	32件		消費者被害	4件	3件		困難事例	179件	286件		その他	0件	10件			H28	H29	H30	ケアマネ	25件	47件		事業所	9件	10件		住民	6件	13件		民生委員	36件	35件		本人	47件	14件		親族	58件	23件		行政	26件	14件		警察	1件	3件		医療機関	32件	16件		不明匿名	0件	0件		その他	67件
	H28	H29	H30																																																																																							
実件数	51件	39件																																																																																								
延べ件数	1,004件	663件																																																																																								
	H28	H29	H30																																																																																							
高齢者虐待	9件	17件																																																																																								
セフレグレト	0件	0件																																																																																								
成年後見等	17件	32件																																																																																								
消費者被害	4件	3件																																																																																								
困難事例	179件	286件																																																																																								
その他	0件	10件																																																																																								
	H28	H29	H30																																																																																							
ケアマネ	25件	47件																																																																																								
事業所	9件	10件																																																																																								
住民	6件	13件																																																																																								
民生委員	36件	35件																																																																																								
本人	47件	14件																																																																																								
親族	58件	23件																																																																																								
行政	26件	14件																																																																																								
警察	1件	3件																																																																																								
医療機関	32件	16件																																																																																								
不明匿名	0件	0件																																																																																								
その他	67件	14件																																																																																								
②高齢者虐待対応状況(再掲)																																																																																										
<ul style="list-style-type: none"> 対応件数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実件数</td> <td>5件</td> <td>3件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>終結件数</td> <td>4件</td> <td>1件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>終結率</td> <td>80.0%</td> <td>33.3%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> 				H28	H29	H30	実件数	5件	3件		終結件数	4件	1件		終結率	80.0%	33.3%																																																																									
	H28	H29	H30																																																																																							
実件数	5件	3件																																																																																								
終結件数	4件	1件																																																																																								
終結率	80.0%	33.3%																																																																																								
医療機関とのネットワーク構築	①個別ケース支援連携数 17件			<p>困難ケースなどで医療関係者と連携した数は17件。急性期病院や精神科病院と協力したケースが多かった。</p> <p>個別の地域ケア会議の参加率は前年度は33.3%であったが、今年度は71.4%と増加。参集方法の工夫や平時からの連携によるものと考えられる。</p> <p>ネットワーク構築は昨年同様、広報紙や相談シートの配布を活用。調剤薬局への新規配布先が2件増えている。</p> <p>医療機関からの高齢者虐待通報件数は1件。更なる働きかけが必要と考える。</p>																																																																																						
	②ネットワーク構築方法 <ul style="list-style-type: none"> 相談シート、広報紙の配布 研修会呼びかけ 退院時支援、総合相談による受付等 ③連携およびネットワーク構築機関 <ul style="list-style-type: none"> 相談シート及び広報誌配布…25件 個別ケースで関わったケース…17件(山城内科、高橋病院、なるかわ病院、亀田病院、亀田北病院、協立病院、深瀬医院、新都市病院、大村整形外科、中央病院、市立函館病院、五稜郭病院、稜北病院、富田病院、渡辺病院、葛西内科、高橋清人クリニック) 高齢者虐待通報…1件 																																																																																									

平成30年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標
<p>地域住民への発信を継続すると共に、新たな関係機関との連携構築を図る</p> <p>成年後見制度等の相談が多くなっているため、地域住民に幅広く周知する 相談に早期対応できるよう、職員のスキルアップを図る</p> <p>DV支援関係者や女性相談窓口へ広報紙を持ち、顔の見える関係性を作る</p>	<p>広報紙や圏域内の町会新聞、出前講座などを通して、権利擁護に関する気づきの視点を発信し、相談件数の向上を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙を通して、住民へ相談先を周知する(年3回) ・高齢者虐待をテーマにした出前講座の開催(年1回以上) <p>介護者のストレス軽減を目的に、多世代に対して相談機関である旨を周知する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙内でダブルケアや家族介護支援の情報提供を行い、相談先の周知を図る(年1回) ・子育て世代を対象に、地域のコミュニティカフェにて出前講座を行う(年1回以上) <p>地域住民へ成年後見制度を知ってもらう為、関係機関と協働し、周知活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協働し、地域住民向けの出前講座を開催する(年1回以上) ・広報紙やパンフレットなどの媒体を通し、地域住民へ周知活動を行う(年1回以上) <p>センター職員が研修会や懇談会へ積極的に出向き、知識の向上及び、関係機関とのネットワーク構築を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見事例検討会への参加(年2回) ・法テラスとの交流懇談会(年1回) <p>ケースを通しての連携を図る機会が昨年度はなかったため、広報紙などの配布を通して、顔の見える関係性を作る(年3回)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○権利擁護相談対応状況 ・対応件数 ・対応事案内訳 ・相談・通報者内訳 ○高齢者虐待対応状況 ・通報件数 ・通報者内訳 ・虐待実件数 ・終結件数(率)
<p>医療関係者とのネットワークを強化し、医療関係者が相談しやすい体制を構築する</p> <p>医療機関からの通報数を増やすため、通報手段を周知する</p>	<p>医療関係者を含めた研修会等を開催。病院関係者のみならず、地域の調剤薬局へも参加を呼びかける。参集方法は手渡し等、直接行うものに変更し、参加率を上げる工夫をする。</p> <p>圏域の介護支援専門員と医療関係者が交流を持てるよう企画する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待をテーマとした圏域内研修会の開催(年1回) <p>・広報紙配布時に、圏域の医療機関へ虐待相談シートを継続的に配布する(年1回 11月)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケース連携数 ・ネットワーク構築方法 ・ネットワーク構築機関 ・「相談シート」の活用について、周知した回数 ・高齢者虐待通報者内訳

(イ) 権利擁護業務

事業内容	平成29年度 活動評価				
	実績			評価	
権利擁護業務に関するネットワーク構築	①高齢者虐待に関する研修会や事例検討会の開催	H28	H29	H30	<p>昨年度、圏域内研修にて虐待予防研修を開催。介護保険事業所が8件、医療機関が2件と参加率は低かった。周知方法の工夫が必要と考える。参加方法や参集機関等を検討し、今年度も引き続き医療機関と連携を図るをりたい。</p> <p>事例検討会は成年後見制度に繋がった事例を用いており、参加者から好意見を頂いた。成年後見制度の相談が増えている事もあり、今後も継続しての開催が必要と思われる。</p>
	開催回数	1回	1回		
	参加機関(実)	1件	11件		
	参加者数(延)	8件	28人		
	● テーマ	・ケアプラン指導研修 「虐待のサインを見逃さないために」			
	②高齢者虐待に関する研修会や事例検討会の参加	H28	H29	H30	
	参加回数	6回	3回		
	③困難事例に関する研修会や事例検討会の開催	H28	H29	H30	
	開催回数	1回	1回		
	参加機関(実)	18件	9件		
参加者数(延)	47件	36人			
● テーマ	・ケアプラン指導研修(事例検討会) 「多職種連携・困難ケースへの協働支援」				
④困難事例に関する研修会や事例検討会の参加	H28	H29	H30		
参加回数	2回	2回			
⑤成年後見制度(日常生活自立支援事業活用を含む)・消費者被害に関する研修会や事例検討会の開催	H28	H29	H30		
開催回数	0回	1回			
参加機関(実)	0件	9件			
参加者数(延)	0件	36人			
● テーマ	・ケアプラン指導研修(事例検討会) 「多職種連携・困難ケースへの協働支援」				
⑥成年後見制度(日常生活自立支援事業活用を含む)・消費者被害に関する研修会や事例検討会の参加	H28	H29	H30		
参加回数	3回	10回			

センター内
スキルアップ対策

住民に対する
広報・啓発活動

①権利擁護業務にかかる広報・啓発回数	H28	H29	H30
高齢者虐待	2回	4回	
成年後見制度	3回	1回	
消費者被害	9回	3回	
②権利擁護業務にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関	函老連第4ブロック、石川町在宅福祉委員会、美原福寿会		

地域住民への権利擁護広報について、回数は少なくなっているが、パンフレットの配布の回数が少なくなっている事が原因であり、出前講座の依頼は昨年度より増加している。

内容も消費生活センターと協働し、出前講座を開催。参加者からも好評であった。今後も関係機関と共に研修会を行う機会を持つことが有用であると考えられる。

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>専門職が成年後見制度等を理解し、相談しやすい体制を構築する</p>	<p>ケアマネ、介護保険事業所、医療関係者等、多職種に参加を呼びかける。参集方法は手渡し等、直接行うものに変更し、参加率を上げる工夫をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成年後見制度について、理解を深められるよう、圏域内で専門職を対象とした研修会を開催する(年1回) 	<p>○高齢者虐待、困難事例、成年後見制度・消費者被害に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会や事例検討会の開催回数と参加機関、参加者数 ・研修会や事例検討会の参加回数
<p>職種を問わず、各専門職が権利擁護相談に対応できるスキルを身につけることができる</p>	<p>各専門職が権利擁護を学ぶための研修会に参加し、職種を問わず相談対応ができるような体制を作る。</p> <p>各研修会で学んだことを、センター内で共有、伝達し、スキルアップを図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待対応現任者研修への参加(1人/1回) ・虐待防止推進研修への参加(1人/1回) ・成年後見事例検討会への参加(年2回) <p>困難支援ケース対応時にはセンター内で共有し、必要時にはケース検討会議を開催する(適宜)</p> <p>高齢者虐待の通報受理・情報収集のスキルアップを目指し、センター内の研修会を開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談受理から帳票作成までの流れの統一と再確認(年1回以上) 	
<p>住民の高齢者虐待や地域の見守りの意識が向上する</p> <p>センターを相談先として周知する</p> <p>地域住民が成年後見制度について理解を深め、相談しやすい体制をつくる</p>	<p>住民からの要望に合わせ、高齢者虐待や消費者被害について出前講座を開催する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待について(年1回以上) ・消費者被害について(年1回以上) <p>地域住民へ成年後見制度を知ってもらう為、関係機関と協働し、周知活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と協働し、地域住民向けの出前講座を開催する。(年1以上) ・広報紙やパンフレットなどの媒体を通し、地域住民へ周知活動を行う。(年1回以上) 	<p>○権利擁護業務にかかる広報・啓発回数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者虐待、消費者被害、成年後見制度 ・出前講座、講師派遣の依頼機関

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

【根拠法令】介護保険法115条の4第2項第3号

【目的】高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、個々の高齢者等の状況や変化に応じて、包括的かつ継続的に支援していくための地域における他職種相互の連携・協働の体制づくりや個々の介護支援専門員に対する支援を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価			
	実績			評価
包括的・継続的 ケアマネジメント体制 の構築	①合同ケアプラン指導研修会開催状況			
		H28	H29	H30
	開催回数	2回	2回	
	・ 圏域の参加状況			
		1回目	2回目	
	参加事業所数	12件	7件	
	参加率	92.3%	53.8%	
	②圏域内ケアプラン指導研修開催状況			
	・ 6月30日 亀田病院			
	テーマ	総合事業についての研修会		
	連携状況	包括よろこび 圏域内主任ケアマネと協働		
	参加事業所数	圏域内	居宅介護支援 小規模多機能	7件 2件
		圏域外等	22件	
	参加者数	82人		
	・ 10月11日 亀田病院			
テーマ	多職種連携・困難ケースへの協働支援			
連携状況	法テラス、成年後見センター			
参加事業所数	圏域内	居宅介護支援 小規模多機能	8件 1件	
	圏域外等	5件		
参加者数	36人			
・ 3月22日 亀田病院				
テーマ	虐待のサインを見逃さないために			
連携状況	医療機関			
参加事業所数	圏域内	居宅介護支援 小規模多機能	6件 1件	
	圏域外等	5件		
参加者数	30人			
介護支援専門員に 対する個別支援	①支援件数			
		H28	H29	H30
	ケース数	22件	8件	
	対応回数	194件	40件	
	終結件数	21件	6件	
	終結率	95.5%	75.0%	
	②相談者(重複あり)			
		H28	H29	H30
	ケアマネ	17件	6件	
	本人	4件	0件	
	家族	4件	1件	
	行政	0件	0件	
	その他	3件	1件	
	<p>合同研修についてはケアマネジメントの基本を押さえ、圏域内で実施した研修は制度改正、多職種連携、虐待と活動計画に沿い、全体的にバランスをとった内容で研修を実施する事ができた。</p> <p>合同研修においては、1回目の「利用者理解を深めるために」と傾聴技法に関する内容の参加率が92.3%と高水準であったが、2回目の「地域包括ケアとケアマネの役割」に関しては、出席率は53.8%と低調であった。</p> <p>圏域内研修では、総合事業(31名)、困難事例(36名)、虐待(30名)と内容により参加者数の大きな変動は見られなかった。</p> <p>研修内容については、ケアマネのニーズに沿ったものだけではなく、ケアマネとして知っておくべきことや活用してもらいたいことなど、包括側から提案する形の物があっても良いと思われ、次年度の研修計画を立てる際に組み込みたい。</p> <p>前年度と比較すると、相談件数は27.2%に減少。実働を伴うケース支援は減少したが、電話や来所時の助言等、軽微な対応で済んだケースも多かった。また、総合事業が始まったこともあり、当該事業に関する質問や相談も多数寄せられた。</p> <p>昨年度課題であった終結までの期間について、支援の冗長さを排する事で平均1.3ヶ月と、前年度と比較し0.8ヶ月短縮する事ができたと評価する。(終結を意図)</p>			

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>圏域内のケアマネが地域包括ケアシステムを念頭に置いて、適切なケアマネジメントを実践できる</p> <p>ケアマネ同士のネットワーク強化を目指す</p>	<p>・「地域包括ケアシステムの構築」実現に向けてケアマネとしての専門性を高めるとともに、実務に活かせる知識や技術の習得を目的とした研修会の開催(年2回、合同開催)</p> <p>・居宅主任ケアマネと包括が連携し、圏域内ケアマネが業務を行うなかで必要な知識の向上を図る事を目的とした研修の開催(P7と同様)(年1回)</p> <p>・多職種/他機関との連携やネットワーク構築に主眼を置いた研修の開催(函館市医療・介護連携支援センターとの協働等を企画)(P9と同様)(年1回)</p>	<p>・ケアプラン指導研修開催回数(他職種連携, 主任CM連携)</p> <p>・参加数(率)(>60%)</p> <p>居宅・小多機8事業所以上</p>
<p>ケアマネが包括へ相談しやすい関係性を構築する事ができる</p> <p>ケアマネが困難と感じている問題を協働して解決し、その過程のなかでケアマネのスキルアップを図る</p>	<p>・上記、研修会、懇談会等で包括の役割等を周知することで相談間口を広げ、相談しやすい環境を作りながら円滑な個別支援の実施につなげていく</p> <p>・ケース対応について現状把握を行い、ケアマネのスキル等によって支援の内容・方法等を確認・共有しながら対応することにより、支援の終結を目指すとともに、包括への相談の成果を感じられるよう支援する。また、ケアマネ個別の支援のみならず、その事業所全が共有できるよう、管理者等とも振り返りを行う</p>	<p>・個別支援数</p> <p>・終結数(率)</p> <p>・対応方法</p> <p>・課題の背景</p> <p>・地域とのつながりを視野に入れ支援したケース数</p> <p>・終結までに要した時間(<2.1ヶ月)</p>

(ウ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

事業内容	平成29年度 活動評価			
	実績			評価
介護支援専門員に対する個別支援	③対応方法(重複あり)			
		H28	H29	H30
	情報提供	12件	2件	
	支援方針助言	22件	6件	
	計画作成助言	0件	0件	
	地域とのつながり	—	0件	
	ケアマネ変更支援	19件	4件	
	その他	20件	2件	
	④課題の背景(重複あり)			
		H28	H29	H30
	本人	17件	7件	
	家族	8件	2件	
ケアマネ	6件	1件		
その他	5件	0件		
<p>支援内容について7ケース中4ケース(57.1%)がケアマネ変更についての相談であったが、課題の背景をみると85.7%が利用者本人にあると結果が出ている。</p> <p>援助者としてのケアマネが、多様な利用者ニーズに対応できるスキルをつけるための支援を継続する一方で、個別支援の過程において、内在している問題が表面化し悪化する前に対応するツールとして、積極的に個別の地域ケア会議を活用してもらう必要があると考える。</p>				

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>圏域内のケアマネが、個別の地域ケア通じて地域とのネットワークを構築すると共に、円滑な支援を行うためのツールとして、構築したネットワークを活用することができる</p>	<p>・ケアマネからの求めに応じるのみならず、その必要性を判断して個別の地域ケア会議開催の働きかけや支援を行い、地域の人的物理的な資源を活用しながら問題解決を図る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援数 ・終結数(率) ・対応方法 ・課題の背景 ・地域とのつながりを視野に入れ支援したケース数 ・終結までに要した時間(<2.1ヶ月)

(I) 地域ケア会議推進事業

【根拠法令】介護保険法115条の48

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、地域ケア会議を開催し、介護サービスだけでなく、様々な社会資源が有機的に連携することができる環境を整備し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を営むことができるよう支援を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価																	
	実績			評価														
個別ケースの検討を行う地域ケア会議	①開催状況			<p>最も多い個別ケースの課題は「認知症」で、全ケースに該当。次いで「独居」が71.4%。「財産管理」「近隣とのトラブル」がともに42.9%であった。全ケースとも地域課題の発見までには至らず、困難事案の支援方針や解決策の検討が主目的の開催であった。</p> <p>ケアマネの参集が85.7%あり、居宅と地域がつながる機会として意識できたと考える</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画数値</td> <td>7回</td> <td>7回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>6回</td> <td>7回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>85.7%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28		H29	H30	計画数値	7回	7回		開催回数	6回	7回		達成率	85.7%	100.0%	
	H28	H29	H30															
計画数値	7回	7回																
開催回数	6回	7回																
達成率	85.7%	100.0%																
地域課題の検討を行う地域ケア会議	①開催状況			<p>《昭和1~4丁目》</p> <p>定例での開催。「情報共有→課題抽出→具体策の意見交換→実践→評価」のサイクルで定期的に開催する協議体(地域ケア会議)とし、住民の意見を反映した地域づくり・政策提言につなげたいと考えている。</p> <p>「国道5号線で分離している昭和4丁目に集う場所・機会がない」との地域課題から開催に至った健康づくり教室のフィードバックや新たな地域課題の抽出について意見交換を行うとともに、他市、他町の取り組みを通して町づくりの重要性について、意識向上を図ることができた。</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画数値</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28		H29	H30	計画数値	3回	3回		開催回数	3回	3回		達成率	100.0%	100.0%	
	H28	H29	H30															
計画数値	3回	3回																
開催回数	3回	3回																
達成率	100.0%	100.0%																
	②テーマおよび主な参加機関			<p>《石川町》</p> <p>平成29年度は防災の体制作りを目的に地域ケア会議を実施した。介護施設等も多く、施設からも町会との繋がりをもちたいとの希望があったことから、マッチングも目的に開催した。</p> <p>今後も台風の上陸をきっかけに石川や常盤川が氾濫するリスク等がある地域である。</p>														
<ul style="list-style-type: none"> 11月2日 石川町会館 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>石川町における防災の取り組みを知る</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>町会役員、在宅福祉委員、介護福祉施設、障がい福祉事業所</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 11月9日 昭和町会館 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>人とのつながりを大切にすまちづくり昭和</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生委員、地域交流まちづくりセンター、子供食堂</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> 2月9日 昭和町会館 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>人とのつながりを大切にすまちづくり昭和</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生委員、地域交流まちづくりセンター、社会福祉協議会、行政(高齢福祉課)</td> </tr> </table>	テーマ	石川町における防災の取り組みを知る	参加機関		町会役員、在宅福祉委員、介護福祉施設、障がい福祉事業所	テーマ	人とのつながりを大切にすまちづくり昭和	参加機関	民生委員、地域交流まちづくりセンター、子供食堂	テーマ	人とのつながりを大切にすまちづくり昭和	参加機関	民生委員、地域交流まちづくりセンター、社会福祉協議会、行政(高齢福祉課)					
テーマ	石川町における防災の取り組みを知る																	
参加機関	町会役員、在宅福祉委員、介護福祉施設、障がい福祉事業所																	
テーマ	人とのつながりを大切にすまちづくり昭和																	
参加機関	民生委員、地域交流まちづくりセンター、子供食堂																	
テーマ	人とのつながりを大切にすまちづくり昭和																	
参加機関	民生委員、地域交流まちづくりセンター、社会福祉協議会、行政(高齢福祉課)																	
	③明確になった地域課題																	
	<ul style="list-style-type: none"> 災害に備えたネットワークの構築や日頃からの意見交換が必要である 子どもを含めた多世代・多機関での交流の機会がない 役割や存在意義を感じられる集いの場がない 																	
住民に対する広報・啓発活動	①地域ケア会議にかかる広報・啓発回数			<p>広報紙の活用や出前講座を使って、地域ケア会議や地域での見守りの重要性について広報した。</p> <p>次年度も先ずは浅く広く周知活動に努め、開催時は事前に参加者への趣旨説明や目的等、詳細を説明することで活発な意見交換が可能となるよう実施していく必要がある。</p>														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域ケア会議</td> <td>2回</td> <td>5回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>2回</td> <td>5回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		H28		H29	H30	地域ケア会議	2回	5回		地域の見守り	2回	5回					
	H28	H29	H30															
地域ケア会議	2回	5回																
地域の見守り	2回	5回																
	②地域ケア会議にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関																	
	<p>函館市町会連合会、函労連北地協第4ブロック、北海道教育大学附属函館小学校、北美原町会女性部、亀田北病院、石川町在宅福祉委員会</p>																	

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>「独居」「認知症」等による課題を抱えているケースの地域ケア会議を開催することで支援内容を検討するとともに、地域のネットワークと見守り体制を構築する</p>	<p>《適宜、必要性に応じて会議を企画・運営する》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現に抱える課題を解決するための支援策を専門職のみならず、関係者、住民とともに検討・共有・役割分担することで、見守り体制等を構築するとともに、地域の共通課題について分析する ・(居宅のケアマネが担当している場合)包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の目的を重視し、ケアマネと地域関係者とのネットワーク構築を図る。また、構築されたネットワークをケアマネが活用し、継続的に機能しているか追跡調査を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数と計画達成率 ・居宅と地域がつながる仕組みづくりに向けた検討を行った回数 ・地域における認知症の方への支援および地域での見守り体制の構築方法について検討した回数
<p>《昭和1～4丁目》 町民が多世代を含めて地域のことを考え、見守り支援の意識をするようになる</p> <p>《石川町会》 防災について地域ケア会議(協議体)を開催し、構築できたネットワークの強化とより具体的な防災対策について検討する</p> <p>《美原4丁目》 高齢者が多く住む赤川UR団地の課題や見守り体制の必要性等について、懇談会や地域ケア会議等を通して把握する</p>	<p>《昭和1～4丁目》 1層コーディネーターや地域福祉コーディネーター、社会福祉協議会、有識者等の協力を得ながら、協議体を定期開催し、住民や多機関の関係者が意見交換する地域ケア会議を開催する。 将来的には抽出された地域課題や地域ニーズに沿った定例かつ住民主体の集いの場等の資源開発を目指す。</p> <p>《石川町》 第1回地域ケア会議(協議体)で抽出された地域課題を基に、災害時の協力体制の整備、防災マップの作成や要援護者の避難支援体制について検討していく。</p> <p>《美原4丁目》 住宅管理公社との懇談等を通して、地域ケア会議(協議体)を開催し、地域課題や地域ニーズの抽出を図る。 将来的には地域課題に沿った見守り支援体制の構築等、資源開発を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催数と計画達成率 ・居宅と地域がつながる仕組みづくりに向けた検討を行った回数 ・地域における認知症の方への支援および地域での見守り体制の構築方法について検討した回数
<p>地域の住民や団体、関係機関が地域について考えるきっかけを得てもらう</p> <p>地域の現状や活動の実際について触れる機会を作ることで、「ちょっとした見守り」や「きになる程度での相談」等ができる支援者を増やす</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議の目的、実施報告と併せて地域づくりや見守り・気づきについて周知することを目的に広報紙を発行する(年1回) ・出前講座や民児協定例会等を活用して、民生委員や町会役員、関係機関や団体に、地域ケア会議や地域づくりについての広報活動を行うとともに、開催時の参加・協力要請をしていく 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域ケア会議にかかる広報・啓発回数 ・地域ケア会議、地域の見守り ・出前講座、講師派遣の依頼機関

イ 生活支援体制整備事業

(7) 第2層生活支援コーディネーター業務

【根拠法令】介護保険法115条の4第2項第5号

【目的】地域包括ケアシステムの構築のため、第2層生活支援コーディネーターとして、高齢者の日常生活上の支援体制の充実・強化および高齢者の社会参加の促進が一体的に図られる仕組みづくりを行う。

事業内容	平成29年度 活動評価																													
	実績	評価																												
地域のネットワーク構築	<p>①ネットワーク構築機関数 72 機関</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機関名</th> <th>機関数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>民生児童委員(方面)</td> <td>6機関</td> </tr> <tr> <td>町会</td> <td>5機関</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉委員会</td> <td>3機関</td> </tr> <tr> <td>介護保険事業所</td> <td>30機関</td> </tr> <tr> <td>職能団体・連協</td> <td>4機関</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>24機関</td> </tr> </tbody> </table> <p>②ネットワーク構築回数 81 回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>懇談会(開催、参加)</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>民児協定例会</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>町会行事</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>在宅福祉ふれあい事業</td> <td>7回</td> </tr> <tr> <td>地域密着運営推進会議</td> <td>53回</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>2回</td> </tr> </tbody> </table>	機関名	機関数	民生児童委員(方面)	6機関	町会	5機関	在宅福祉委員会	3機関	介護保険事業所	30機関	職能団体・連協	4機関	その他	24機関	種別	回数	懇談会(開催、参加)	8回	民児協定例会	0回	町会行事	11回	在宅福祉ふれあい事業	7回	地域密着運営推進会議	53回	その他	2回	<p>地域の特性である学校や商業施設等を巻き込んだネットワークの構築においては、先方の多忙さや通常業務優先の現実もあり、協力要請はできても「ネットワークとしての繋がり(協働)を作る」までには至らなかった。</p>
機関名	機関数																													
民生児童委員(方面)	6機関																													
町会	5機関																													
在宅福祉委員会	3機関																													
介護保険事業所	30機関																													
職能団体・連協	4機関																													
その他	24機関																													
種別	回数																													
懇談会(開催、参加)	8回																													
民児協定例会	0回																													
町会行事	11回																													
在宅福祉ふれあい事業	7回																													
地域密着運営推進会議	53回																													
その他	2回																													
第2層協議体の開催	<p>①開催状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>計画数値</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>開催回数</td> <td>3回</td> <td>3回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>達成率</td> <td>100.0%</td> <td>100.0%</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②テーマおよび主な参加機関</p> <ul style="list-style-type: none"> 11月2日 石川町会館 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>石川町における防災の取り組みを知る</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>町会役員、在宅福祉委員、介護福祉施設、障がい福祉事業所</td> </tr> </table> 11月9日 昭和町会館 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>人とのつながりを大切にするまちづくり昭和</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生委員、第1層生活支援コーディネーター、子供食堂</td> </tr> </table> 2月9日 昭和町会館 <table border="1"> <tr> <td>テーマ</td> <td>人とのつながりを大切にするまちづくり昭和</td> </tr> <tr> <td>参加機関</td> <td>民生委員、第1層生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、行政(高齢福祉課)</td> </tr> </table> 		H28	H29	H30	計画数値	3回	3回		開催回数	3回	3回		達成率	100.0%	100.0%		テーマ	石川町における防災の取り組みを知る	参加機関	町会役員、在宅福祉委員、介護福祉施設、障がい福祉事業所	テーマ	人とのつながりを大切にするまちづくり昭和	参加機関	民生委員、第1層生活支援コーディネーター、子供食堂	テーマ	人とのつながりを大切にするまちづくり昭和	参加機関	民生委員、第1層生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、行政(高齢福祉課)	<p>(P14と同様)</p>
	H28	H29	H30																											
計画数値	3回	3回																												
開催回数	3回	3回																												
達成率	100.0%	100.0%																												
テーマ	石川町における防災の取り組みを知る																													
参加機関	町会役員、在宅福祉委員、介護福祉施設、障がい福祉事業所																													
テーマ	人とのつながりを大切にするまちづくり昭和																													
参加機関	民生委員、第1層生活支援コーディネーター、子供食堂																													
テーマ	人とのつながりを大切にするまちづくり昭和																													
参加機関	民生委員、第1層生活支援コーディネーター、社会福祉協議会、行政(高齢福祉課)																													
地域資源の収集と見える化、支え合いと介護予防に関する普及啓発	<p>①地域の支え合いや介護予防にかかる広報・啓発回数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防</td> <td>—</td> <td>9回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地域の見守り</td> <td>—</td> <td>5回</td> <td></td> </tr> <tr> <td>社会資源</td> <td>—</td> <td>0回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>②地域の支え合いや介護予防にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関</p> <p>〔 亀田老人大学、美原グリーン町会、赤川町在宅福祉委員会、北海道教育大学附属函館小学校、北美原町会女性部、石川町在宅福祉委員会 〕</p>		H28	H29	H30	介護予防	—	9回		地域の見守り	—	5回		社会資源	—	0回		<p>平成29年度は社会資源のマップ化まで着手できず、計画を実行できなかった。</p>												
	H28	H29	H30																											
介護予防	—	9回																												
地域の見守り	—	5回																												
社会資源	—	0回																												

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>既存の社会資源である各団体や商業施設等と新たにネットワークを構築・強化する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・個別ケースの相談や出前講座、広報紙発行等を通して各団体や商業施設に出向き、包括支援センターの役割を周知するとともにの見える関係を構築していく ・ネットワークを構築していく中で、各団体や商業施設の抱える課題等を聞き取り、地域課題として捉えながら将来的な協働を模索していく 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク構築回数 ・ネットワーク構築機関
(P15と同様)	(P15と同様)	<ul style="list-style-type: none"> ・協議体の開催回数、テーマ、主な参加機関
<p>(P13と同様)</p> <p>社会資源を「見える化」するツールを作成できる</p>	<p>(P13と同様)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の社会資源をマップ化し、センター内に掲示する ・協議体(地域ケア会議)等で情報共有した資源をマップ化し、構成メンバーにフィードバックする 	<ul style="list-style-type: none"> ○地域の支え合いや介護予防の取組、把握した地域資源に関する普及啓発 ・広報紙の発行回数 ・リーフレット等配布回数 ・出前講座や講師派遣の回数と対象者

② 新しい介護予防・日常生活支援総合事業

イ 一般介護予防事業

(7) 地域介護予防活動支援事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業）

【根拠法令】 法第115条の4第1項第2号

【目的】 年齢や心身の状況等によって高齢者を分け隔てることなく、誰でも一緒に参加することのできる介護予防活動の地域展開を目指して、市町村が介護予防に資すると判断する住民主体の通いの場等の活動を地域の実情に応じて効果的かつ効率的に支援する。

事業内容	平成29年度 活動評価						
	実績					評価	
健康づくり教室 (新規・継続・自主)	① 新規教室						
		開催回数	参加者(実)	参加者(延)	1回平均	1人平均	
		アミニティコレクピア	19回	25人	219人	11.5人	8.76回
	<昭和4丁目> 評価対象者数 11人						
	・ 教室後に維持・向上した人数と割合						
			人数	割合			
		主観的健康観	9人	81.8%			
		運動や趣味活動	9人	81.8%			
		外出頻度	9人	81.8%			
		社会活動の頻度	8人	72.7%			
	・ 地域(町会や近所)との交流状況(複数回答)						
				教室前	教室後		
	ある	挨拶程度		3人	1人		
		立ち話をする		6人	6人		
		行き来がある		3人	2人		
		町会行事に参加している		4人	4人		
		生活面で協力し合う		0人	2人		
	あまりない	知っている人がいない		0人	3人		
		知り合う機会がない		1人	0人		
	・ 参加した感想						
			人数	割合			
		とてもよかった	5人	45.5%			
		よかった	6人	54.5%			
		あまり良くなかった	0人	0.0%			
		期待はずれだった	0人	0.0%			
	・ 今後の取り組みについて(複数回答)						
			人数	割合			
		この教室で活動したい	9人	81.8%			
	ほかの教室にも参加する	2人	18.2%				
	ほかの教室にも参加したいが難しい	0人	0.0%				
	自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%				
* 次年度の方角性							
〔 2年目教室として活動継続 参加者から要望あり 〕							
② 継続教室(2年目)							
	開催回数	参加者(実)	参加者(延)	1回平均	1人平均		
	北美原町会館	23回	19人	276人	12.0人	14.5回	
<北美原町会館> 評価対象者数 12人							
・ 教室後に維持・向上した人数と割合							
		人数	割合				
	主観的健康観	9人	75.0%				
	運動や趣味活動	11人	91.7%				
	外出頻度	10人	83.3%				
	社会活動の頻度	9人	75.0%				
・ 地域(町会や近所)との交流状況(複数回答)							
			教室前	教室後			
ある	挨拶程度		8人	5人			
	立ち話をする		4人	5人			
	行き来がある		3人	4人			
	町会行事に参加している		6人	6人			
	生活面で協力し合う		2人	2人			
あまりない	知っている人がいない		0人	0人			
	知り合う機会がない		1人	0人			
<p><昭和4丁目></p> <p>昭和4丁目地区は昭和1~3丁目と国道5号線で遮られており、また、背後に函館本線の線路があり、他地域との連携が難しい地区となっている。そのため今までは健康づくり教室をはじめ地域住民が集まる場が少ない状況にあった。平成29年6月よりサ高住アミニティコレクピアで教室を開催し、平均11名以上の参加が得られた。教室の前後のアンケートでは参加によって健康や外出頻度の維持向上が図られたという方が8割前後となり一定の効果を感じられ、また、他者との交流についても改善された方が多かった。教室参加者同士の交流によって他の健康教室へも参加する方もおり、健康増進と交流という当初の目的に合致していると考えられる。当初ボランティアが参加していたが、他の活動と重なるなど、あまり来ることが出来なかった。今後の教室の継続のため、新たなボランティアの参加を促す必要がある。また、教室内容の充実と今後の継続のためにも、外部講師の導入も含め検討が必要。</p> <p><北美原></p> <p>2年目教室となった。北美原地区はもともと健康づくり教室がない地域だった。1回あたりの参加者平均は初年度の15.4人から12.0人へとやや減ったが、毎回参加する方や赤川など健康づくり教室がない地域からの参加もある教室だった。教室参加により健康や外出頻度の向上が見られ、開催の効果があつたと考える。参加者相互の交流も促進されていた。継続して参加していた方は今後も教室を継続したいと希望していたが、参加人数がやや低下傾向にあり、リーダー役となる方やボランティアが見つからず終了することとした。今後は秋に転倒予防教室として数回の教室実施を検討する。また、ボランティアが見つかり次第教室の再開を検討する。</p>							

平成30年度 活動計画

事業目標	計画	評価指標
<p>《美原グリーン町会》 地域住民の健康の維持増進と外出の場の確保ができる</p>	<p>《美原グリーン町会》 美原町会圏域では、包括が支援している「元気いきいき教室2」の他、町内会館などでも健康づくり教室が実施されている。しかし、美原グリーン町会付近では集まる場所も少なく健康づくり教室などは行なわれていなかったため、美原グリーン町会館を会場に実施する。(開始当初月1回、夏以降2回実施を検討。20回程度。) ・継続した教室とするため、ボランティアや町会役員の協力を得て開催する ・町会回覧板にて周知する ・亀田病院リハビリテーション科の協力を得て、多職種での支援を行う ・アンケート実施等により健康への意識評価や意欲評価を行う</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・開催回数(新規、継続)および参加者数 ・参加者の行動変容 ・参加者の主観的健康観の変化 ・自主化グループの活動状況 ・各町内会への聞き取り
<p>《昭和4丁目》 住民の健康づくりの場、外出の機会の場としての教室が維持できる 住民が主体となり教室の運営ができる</p>	<p>《昭和4丁目》 ・毎月第1、第3木曜日に実施する(24回) ・継続教室として支援し、ボランティアを募集する ・ボランティアにはプログラム作成や進行、会計等の指導や助言を行い、来年度以降の自主化を目指す ・アンケート実施等により健康への意識評価や意欲評価を行う</p>	
<p>《北美原》 住民に冬場の転倒予防、外出の機会の場として機関限定で教室を実施する</p>	<p>《北美原》 ・10月～12月をめどに3回程度の短期教室を実施する ・北美原健康づくり教室参加者へ個別へ通知する ・町会回覧板などで周知する ・ボランティアを募集し、ボランティアの参加があった場合はフォロー教室としての再開を目指す</p>	
<p>《美原振興会館》 住民の健康づくりの場、外出の機会の場としての教室が維持できる 住民が主体となり教室の運営ができる</p>	<p>《美原振興会館》 ・毎月第1、第3水曜日に実施している ・3か月に1度の訪問、支援を行う(4回程度) ・リーダー不在時は支援する ・体操や運動、進行等、教室運営のアドバイスをを行う ・利用者の参加状況を把握し、必要時新規参加者を紹介する</p>	
<p>《各町内会》 地域住民が健康維持、増進の知識を得ることができる 地域で自主化している教室の実態把握を行う</p>	<p>《各町内会》 ・圏域内で自主化している教室を訪問し、実施状況の把握とともに支援の必要性を判断する ・圏域内の教室を把握する ・必要に応じて健康についての講話や講師を派遣するなど健康に対する意識の向上や自主化教室の継続を後方支援する ・赤川町会にて健康づくり教室がないため、町会老人クラブなどと相談し開催について検討する ・圏域内の教室で許可があれば包括広報誌などへの記載や周知を検討する</p>	

(7) 地域介護予防活動支援事業（高齢者の生きがいと健康づくり推進事業）

事業内容	平成29年度 活動評価																																							
	実績	評価																																						
健康づくり教室 (新規・継続・自主)	<ul style="list-style-type: none"> 参加した感想 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とてもよかった</td> <td>9人</td> <td>75.0%</td> </tr> <tr> <td>よかった</td> <td>3人</td> <td>25.0%</td> </tr> <tr> <td>あまり良くなかった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>期待はずれだった</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> 今後の取り組みについて(複数回答) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>人数</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>この教室で活動したい</td> <td>11人</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加する</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> <tr> <td>ほかの教室にも参加したいが難しい</td> <td>1人</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>自分で介護予防に取り組んでみる</td> <td>0人</td> <td>0.0%</td> </tr> </tbody> </table> * 次年度の方向性 <ul style="list-style-type: none"> 解散 ③ 自主活動支援 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>支援回数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>石川町会館</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>昭和町会館</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>美原商店街振興会館</td> <td>24回</td> </tr> </tbody> </table> 		人数	割合	とてもよかった	9人	75.0%	よかった	3人	25.0%	あまり良くなかった	0人	0.0%	期待はずれだった	0人	0.0%		人数	割合	この教室で活動したい	11人	91.7%	ほかの教室にも参加する	0人	0.0%	ほかの教室にも参加したいが難しい	1人	8.3%	自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%		支援回数	石川町会館	2回	昭和町会館	0回	美原商店街振興会館	24回	<p>《美原振興会館》 3年目のフォロー教室だった。リーダー役の方にまるげん体操などの講習に参加を促したが、受講につながらなかった。函館賛歌体操など簡単にできる体操などを勧め、自立の目途がたつたため、4年目からは3か月に1回程度の支援のみとすることとなった。</p> <p>《その他の教室》 昭和町会館の健康づくり教室や北美原町会館のヨガ教室が中止になり支援ができなかった。石川町の教室は継続しており、必要あれば支援する。</p>
	人数	割合																																						
とてもよかった	9人	75.0%																																						
よかった	3人	25.0%																																						
あまり良くなかった	0人	0.0%																																						
期待はずれだった	0人	0.0%																																						
	人数	割合																																						
この教室で活動したい	11人	91.7%																																						
ほかの教室にも参加する	0人	0.0%																																						
ほかの教室にも参加したいが難しい	1人	8.3%																																						
自分で介護予防に取り組んでみる	0人	0.0%																																						
	支援回数																																							
石川町会館	2回																																							
昭和町会館	0回																																							
美原商店街振興会館	24回																																							
住民への 介護予防に関する 広報・啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ① 介護予防にかかる広報・啓発回数 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護予防</td> <td>6回</td> <td>8回</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ② 介護予防にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 <ul style="list-style-type: none"> 亀田老人大学、美原グリーン町会、赤川町在宅福祉委員、函老連北地協第4ブロック 		H28	H29	H30	介護予防	6回	8回		<p>感染症や脱水、認知症などの話が主だった。町内会や各団体から直接要望されることが多くりつつある。引き続き包括からもアプローチして啓発を続ける必要がある。</p>																														
	H28	H29	H30																																					
介護予防	6回	8回																																						

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
<p>地域住民が健康維持、増進の知識を得ることができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民の健康や介護予防に関する意識向上を目的にリーフレットなどを作成する(年3回以上) ・圏域内の施設や団体などへ出前講座を実施する。講座の内容各団体と相談し決定する(5回以上) ・広報紙にて出前講座の実施や希望受付の周知を行う ・多職種との連携を図り講座内容の充実を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ○介護予防にかかる広報・啓発回数 ・出前講座・講師派遣の依頼機関

③ 任意事業

ア 住宅改修支援事業

【根拠法令】介護保険法 115条の4 5 第3項第3号

【目的】高齢者向けに居宅等の改良を行おうとする者に対して、住宅改修に関する相談、助言等を行い、助言および介護保険制度の利用に関する助言を行うとともに、専門的な観点からの助言が必要と認められる場合は、他の専門職も含め対応の検討を行い、必要な助言を行う。

事業内容	平成29年度 活動評価			
	実績			評価
住宅改修支援	①支援状況			
		H28	H29	H30
	支援件数	23件	30件	
	対応件数としては前年を上回った。地域リハ活動支援事業等、専門職と連携しての支援は0件であった。			
住民に対する 広報・啓発活動	①住宅改修にかかる広報・啓発回数			
		H28	H29	H30
	住宅改修	1回	4回	
	②住宅改修にかかる出前講座・講師派遣の依頼機関 石川町在宅福祉委員会			
	住環境の整備(住宅改修や福祉用具の活用)により在宅生活期間が延びると考えられるため、今後も幅広く制度理解や制度利用の流れについて周知する必要があると考える。			

平成30年度 活動計画		
事業目標	計画	評価指標
対象者(支援が必要なケース)が円滑かつ適切にサービスを利用することができる	<ul style="list-style-type: none"> ・実態把握等により、対象者のADLや家屋状況を把握し、必要な援や調整を迅速かつ適切に行う ・疾患や家屋状況により、より専門的な視点を持って介入する必要がある対象者がいた場合は、理学療法士等と連携し、より専門的な対応をすることで、少しでも長く在宅生活が可能となるよう支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援件数
住環境整備の重要性を周知・広報し、制度や事業を活用する対象者が増える	<ul style="list-style-type: none"> ・住宅改修や福祉用具の販売・貸与に関するの広報紙やパンフレットを配布する(年1回) ・住宅改修や福祉用具の役割や効果の周知を目的として出前講座を開催する(福祉用具専門相談員・リハビリテーション職への協力要請)(年1回) 	<ul style="list-style-type: none"> ○住宅改修にかかる広報・啓発回数 ・出前講座・講師派遣の依頼機関